

桜 疑惑 首相底なし

疑惑底なしの様相
の「桜を見る会」。

税金私物化による買収疑惑、反社会的勢力やマルチ商法会長の招待、「前夜祭」をめぐる公職選挙法と政治資金規正法違反の疑い、招待者名簿隠蔽など問題噴出。いずれも国民は納得していません。

首相の地元後援会が多数招待

問題だと思う 65% 思わない 22%

誰の粋でどんな人物が招待されていたのかを明らかにすべきか

明らかにすべき 64% する必要はない 21%

「名簿をシュレッダー廃棄」についての説明に納得できるか

納得できない 72% できる 13%

「毎日」2日付

私物化／虚偽答弁／資料隠ぺい

安倍内閣支持率
軒並み急落

毎日 11/30～12/1調査
-6ポイント (支持率42%)

日経テレビ東京 11/22～24
-7ポイント (50%)

共同 11/23～24
-5.4ポイント (48.7%)

FNN・産経 11/16～17
-6ポイント (45.1%)

読売 11/15～17
-6ポイント (49%)

国政の私物化が明るみになると虚偽答弁を行い、つじつまを合わせるために隠蔽する…単なるスキャンダルでなく、安倍政治の特徴が凝縮して現れています。

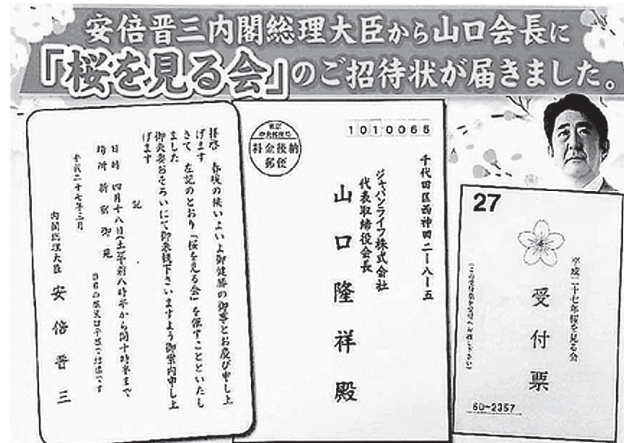
野党の追及について自民党幹部が「逃げ切った」、公明党幹部は「逃げ勝った」と発言。「逃げ」とは悪事を働いたことを認めたも同然です。「逃げ切り」を許すわけにはいきません。

日本共産党

悪徳商法に お墨付き

桜を見る会

詐欺被害拡大
首相の責任重大



首相粋？に
マルチ会長

田村智子参院議員が参院行政監視委(11月25日)で示したジャパンライフの説明会資料

「桜を見る会」疑惑で、安倍首相がマルチ商法で高齢者を食い物にしてきたジャパンライフ会長(当時)を招待していた疑いが出ています。届いた招待状の受付表(写真)には首相粋とみられる「60」番が付けられています。その前年に消費者庁が同社に対する行政指導を行っていたにもかかわらず、招待していたのです。

「経営悪化で追い詰められていた同社が、『桜を見る会』の招待状を使い、「最後の荒稼ぎ」をしたのではないか」—共産党の大門実紀史参院議員が国会で厳しく追及しました。事実なら悪徳商法に首相が「お墨付き」を与え、被害拡大に手を貸したことになります。首相の責任は重大です。

日本共産党

「逃げ切り」は許さない

折り目

しんぶん 赤旗

日刊 16ページ
(毎日配達されます)
月3,497円

日曜版 36ページ
(毎週配達されます)
月930円

お申し込みは
お近くの党事務所か
黨員までお願いします

近畿民報

2019年12月 No.2(第392号)
発行/日本共産党国会議員団
近畿ブロック 事務所

〒537-0025 大阪市東成区中道1-10-10ホクシンビル102号
Tel.06(6975)9111 Fax.06(6975)9115
Eメール:jcpkinki@cronos.ocn.ne.jp

※日本共産党は
以上の見解を
発表しました。